令和８年１０月１９日

第３回学校運営協議会（ＣＳ会）報告内容について

１ 副会長　あいさつ
２　 校長　あいさつ
３　 報告　学校の近況報告　校長より
(1) 児童の学力・学習状況調査結果（全国学力・学習状況調査）
成果：国語・算数ともに全国平均を大幅（10 ポイント以上）に上回割っている。
基礎基本（漢字の習得率約 98%や算数の原理理解）が直実に定着している。
課題：文章から必要な情報を取捨選択して自分の考えを記述・説明する「情報活用能力」の育成が必要である。
(2) プール施設の不具合による民間施設（ティップネス国領）の活用
１学期末に校内プールが故障したため、２学期より民間スイミングスクール（ティップネス国領）施設を活用して水泳指導を実施している。
専門インストラクターによる手厚い指導（少人数制・安全管理体制の徹底）により児童・教員双方から高評価を得ている。今後の本校の水泳指導については、プールの在り方検討委員会の方向性でもある屋内プール拠点参集型や民間施設との連携型に変更される予定である。
(3) 電通大体育館の活用
校庭の仮設校舎工事（改修）に伴い、校庭の半分が使えない期間の体育授業場所として、電気通信大学の体育館（全 31 回）を確保・活用予定である。
(4) ６年生 日光移動教室
実施期間中の天候は雨天が多かったものの、ほぼ予定通りの日程で実施し、子どもたちは日光の自然や歴史に触れることができた。
(5) セーフティ教室と地域の防犯・安全
調布警察署等と連携した SNS・防犯講話（動画を活用したリアリティのある内容）を実施し、子どもたちによい学びの機会となった。
保護者や地域の方々と調布警察との意見交換会では、不審者情報や地域（商店街など）の防犯カメラ運用、児童の通学路安全確保について活発な意見交換が行われた。
PTA で管理してきた「子どもの家」事業について、維持・運用の難しさから来年度に向けて廃止への移行を進めている旨が報告された。
(6) 教職員・校内体制の状況
東京都の栄養士 1 名が退職し、現在は市の栄養士 1 名体制で給食や食物アレルギー対応に取り組んでいる。運営上に支障はない。
(7) 児童等の状況について
２学期以降の子どもの様子について、校長から報告した。
(8) 校内居場所づくり「ひばりルーム」の開設
２学期（9 月 7 日～）より校内居場所「ひばりルーム（仮称）」を開設（現在約５名が利用）した。
児童の登校や社会的自立のきっかけ、保護者同士の情報交換の場として機能している。
３ 協議
(1) 調整授業時数制度を活用した自律学習力の育成について
概要：国の「調整授業時数制度（サキドリ研究校）」を活用し、児童の自律学習力（自己調整学習、対話的学習、情報活用能力）の育成を図る計画を推進する。
ねらい：総合的な学習（探究）の中に「情報の領域」を体系的に導入する。
自学自習アプリ（まるぐランド等）を活用した個別最適な学びの実践を行う。
教員の研修・準備時間（25 時間）を勤務時間内に確保し、働き方改革と授業改善を両立する。
今後の手続き：１１月に申請、１月に選定結果の通知を受け、令和９年度以降の調布市教育委員会指

定校としての成果普及を目指す。

協議の結果、学校運営協議会として本方針に賛成・承認された。

4 その他（施設工事・PTA 等）

校内施設・工事：防災倉庫・体育倉庫の工事の様子や、遊具（上り棒・ジャングルジム等）の安全管理・設置環境についての意見交換をした。